

オンライン開催

災害時トイレ衛生管理講習会 【基礎編】

ー水洗トイレが使えなくなった時の健康と衛生対策を学ぶー

開催案内

開催趣旨

東日本大震災や熊本地震等では、断水や停電、給排水管の損壊、し尿処理施設の被災により、多くの地域において水洗トイレが使用できなくなりました。そのため、発災直後のトイレは大小便で一杯になり、劣悪な衛生状態となったところも少なくありません。一方で、災害時に配備される仮設トイレは、通常は工事現場用として使われているトイレのため、狭い、暗い、和式、段差があるなど災害用としては課題があります。トイレに行きたくないばかりに、水分や食事の摂取を控えてしまい、脱水症状や体力低下などの健康悪化を引き起こし、時にエコノミークラス症候群で死に至ることもあります。

本講習会は、災害時トイレ衛生対策を推進し、安心して使用できるトイレ環境をつくる人材の育成を目的としています。排泄・衛生、トイレ空間・設備、し尿処理の各分野の基本的な内容および、避難所や医療・介護施設、事業所等でのトイレ衛生対策の実践的なノウハウを習得していただきます。

自治体および組織の防災・下水・廃棄物担当者、看護師や保健師、学校関係者、マンション等の管理担当者等、地域や組織を守る立場の方々にご受講いただき、防災力を高めていただくことを願っております。

講習会のポイント

- ・ 災害時のトイレの課題と対応方法・健康管理に関する基礎知識を身につける
- ・ 災害用トイレの選定や備蓄数量など、適切な備えのための情報を得る
- ・ トイレし尿処理の仕組みを理解することで、的確な現場対応に役立つ
- ・ 災害時のトイレを衛生的に保つための方策を学ぶ
- ・ 関係機関や専門家等との連携・協力するための基礎知識を身につける

開催概要

開催日 2021年5月29日(土)～5月30日(日)
開催形式 オンライン (Zoom を利用)
主催 特定非営利活動法人日本トイレ研究所
参加費 22,000円 (会員 20,000円) *テキスト代、消費税含む
申込先 特定非営利活動法人日本トイレ研究所
右のQRコードまたは下記URLよりお申し込みください
www.toilet.or.jp/studies-forums/
〒105-0004 東京都港区新橋 5-5-1 IMCビル新橋 9F
TEL : 03-6809-1308 FAX : 03-6809-1412
URL : www.toilet.or.jp

問合せ先

▼お申し込みはこちら



10:00

開講

開講あいさつ

10:05

●トイレ対策の基本的考え方と問題共有

講義1 なぜ、災害時のトイレが問題なのか？

上 幸雄 (特定非営利活動法人日本トイレ研究所)



10:25

休憩 (5分)

10:30

●建築設備と汚水処理

講義2 建物の水洗トイレ・給排水の仕組みと災害時の課題

坂上 恭助 (元・明治大学工学部建築学科建築設備研究室教授)



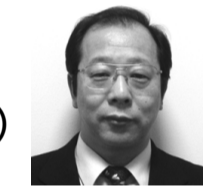
11:00

休憩 (10分)

11:10

講義3 浄化槽・し尿収集の仕組みと災害対応

岡城 孝雄 (岡城技術士事務所所長、元 (公財) 日本環境整備教育センター)



11:40

昼休憩 (60分)

12:40

講義4 下水道BCPとマンホールトイレの仕組み

畑楠 晃平 (一般社団法人日本グラウンドマンホール工業会)



13:10

休憩 (5分)

13:15

●健康管理

講義5 排便ケアの基礎知識

中野 美和子 (神戸学園理事、校長/さいたま市立病院小児外科 (非常勤))



13:45

休憩 (10分)

13:55

講義6 排尿ケアの基礎知識

吉川 羊子 (小牧市民病院 泌尿器科排尿ケアセンター部長)



14:25

質疑応答

15:20

閉講

10:00	開講	
10:05	● 感染症対策 講義7 感染症・衛生対策の基礎知識 菅原 えりさ（東京医療保健大学院医療保健学研究科 教授）	
10:35	休憩（5分）	
10:40	● 災害時トイレ環境 講義8 女性・子ども・高齢者等に配慮したトイレ環境づくり 浅野 幸子（減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表）	
11:10	休憩（10分）	
11:20	講義9 実務にあたっての基本的な考え方 加藤 篤（特定非営利活動法人日本トイレ研究所）	
11:50	昼休憩（60分）	
12:50	● 災害時トイレ対策 実務演習 実習とワークショップ 進行：特定非営利活動法人日本トイレ研究所	
13:50	習得内容の確認	
14:05	習得内容の解説	
14:20	質疑応答	
14:50	閉講あいさつ	
15:00	閉講	

※プログラムは一部変更する場合がありますのでご了承ください。

トイレは私たちの健康を支え、公衆衛生を確保する上で不可欠な設備です。しかし、東日本大震災や熊本地震等では、上下水道が損壊し、水洗トイレが使用できなくなったことで避難所等のトイレは劣悪な環境になりました。文部科学省が実施した調査（東日本大震災）によると、避難所の施設・設備の中で一番問題となったのは「トイレ」でした。

これまで基礎編 10 回、計画編 7 回開催し、すでに 700 名以上の方に受講頂いております。また、基礎編のステップアップ版として計画編（12 月予定）も開催し、防災トイレ計画（D-TOP:Disaster Toilet Plan）づくりも行っています。合わせて受講いただくことをお勧めします。

オンライン受講に際してのお願い

- ① @toilet.or.jp と@zoom.us からのメールが受信できるようドメイン設定をお願いいたします
- ② スマートフォン、タブレットで受講される際は事前に zoom アプリのインストールをお願いします
- ③ 資料等は開催日の約 1 週間前に届くように郵送いたします
- ④ 申込後、視聴用 URL をご連絡いたしますので、届かない場合はご連絡ください
- ⑤ 研修会の内容について録音、録画はご遠慮ください

■問合先

特定非営利活動法人日本トイレ研究所
〒105-0004 東京都港区新橋 5-5-1 IMC ビル新橋 9F
TEL.03-6809-1308 FAX.03-6809-1412 URL www.toilet.or.jp

■特定非営利活動法人日本トイレ研究所とは

「トイレ」をとおして社会をより良い方向へ変えていくことをコンセプトに活動している NPO（特定非営利活動法人）です。災害時のトイレの分野では、阪神・淡路大震災以降、災害時のトイレ問題に着手してきました。